



# 愛知県立大学 地域連携センター守山支部 看護実践センター セミナー等案内

後期  
2023 2024  
10月>3月

**10月**

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

**11月**

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

**12月**

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

**1月**

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

**2月**

				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

**3月**

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

…子育てひろば「もりっこやまっこ」の開催日 □ …看護職者対象の「看護実践センターセミナー」の開催日

看護実践センターでは、看護を通じた地域連携・地域貢献の推進を目的として活動しています。  
申込方法は下記のホームページをご確認ください。

**1 子育てひろば「もりっこやまっこ」開催(子育て支援事業)**

3歳までの子どもと保護者を対象に、遊び・ふれあい・学びの場を提供しています。  
詳細は子育てひろば「もりっこやまっこ」のホームページをご確認ください。  
(<https://www.nrs.aichi-pu.ac.jp/kosodate/>)

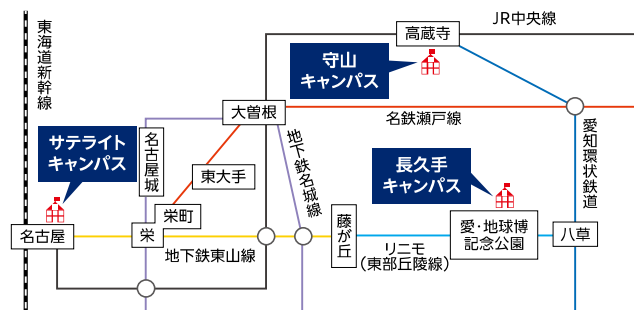


**2 看護職者の生涯学習支援としてのセミナーの開催**

2023年度は、オンラインセミナーとして看護職者対象の「看護研究シリーズ」「看護管理シリーズ」「看護実践シリーズ」、対面でのセミナーなど多彩なセミナーを企画しています。  
詳細は看護実践センターのホームページをご確認ください。  
(<https://www.nrs.aichi-pu.ac.jp/nursing/>)



- 長久手キャンパス**  
愛知県長久手市茨ヶ廻間1522番3  
東部丘陵線(リニモ)「愛・地球博記念公園」駅下車徒歩5分
- 守山キャンパス**  
愛知県名古屋守山区上志段味東谷  
JR中央線、愛知環状鉄道「高蔵寺」駅下車徒歩20分
- サテライトキャンパス**  
愛知県名古屋市中村区名駅4丁目4-38  
(愛知県産業労働センターウイングあいち15階)  
JR、地下鉄、名鉄、近鉄「名古屋」駅徒歩10分



■自然災害や感染症拡大などの影響により、講座を延期・中止またはオンライン開催のみに変更することがあります。

# 愛知県立大学 地域連携センター 公開講座案内

後期  
2023 2024  
10月>3月

**10月**

1	2	3	4	5	6	7
8	9	10	11	12	13	14
15	16	17	18	19	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31				

**11月**

			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

**12月**

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

**1月**

	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

**2月**

		1	2	3		
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29		

**3月**

					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

## 申込方法

**WEB**

地域連携センターホームページにアクセスし、ご希望の講座ページからお申し込みください。  
(<https://www.bur.aichi-pu.ac.jp/renkei/index.html>)



**FAX**

インターネットをご利用されない場合は、①氏名、②フリガナ、③電話番号、④FAX番号、⑤申込講座を記載してFaxにてお申し込みください。(様式任意)

**FAX番号:0561-64-1104**

**注意事項(オンライン講座へお申し込みの場合)**

Zoomのアクセス先と資料は、原則開催日の3日前までにメールにて送付いたします。セミナー当日のお問い合わせは対応できない場合がありますので、予めご了承ください。

# 地域連携センター公開講座案内

## 1 2023年度第1回 愛知県立大学 世界史セミナー 秩序と犯罪から見る近世ドイツ:暴力が渦巻く非文明的な社会?

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生

**日程** 2023年10月7日(土)15:00~17:00  
**会場** 長久手キャンパス 多目的ホール/オンライン  
**講師** 齋藤 敬之 氏(南山大学外国語学部 講師)

日々私たちは報道やSNSなどを通じて多種多様な犯罪を目にし、「治安や秩序が乱れている」といった不安感を抱くことも少なくありません。秩序を維持したり改めたりし、犯罪を積極的に取り締まろうとする試みは、歴史上至る所で見られました。本講演では、宗教改革をはじめとする大きな社会変動を経験した15-17世紀頃のドイツを取り上げ、どのような政策によって秩序の維持や形成が図られたのか、また犯罪がどのように処理されたのかを検討します。それを通じて、当時の社会やさらには現代社会の歴史的特質を考える一助としたいと思います。

## 2 着る・触れる・学ぶ 日本古代の衣装~書物と復元から~

キーワード:②人間への洞察 ④グローバルな多文化共生

**日程** 2023年10月14日(土)13:30~16:00  
**会場** 長久手キャンパス 多目的ホール  
**講師** 畠山 大二郎 氏(愛知文教大学人文学部 准教授)  
eri 氏(洋裁師・歴史民族衣装研究家)

『源氏物語』の衣装について文献から研究を行っている畠山氏から解説をしていただき、歴史的衣装を実作しているeri氏からは、技術面について説明していただきます。文献と実物(復元)の両面から『源氏物語』などに登場する日本古代の衣装について理解を深める公開講座です。

## 3 2023年度グローバル学術交流事業 言語マイノリティ:人権の拡張か、文化遺産の保護か

キーワード:①外国語 ②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生

**日程** 2023年10月21日(土)~12月16日(土) 全3回  
**会場** 長久手キャンパス 多目的ホール/オンライン

本事業は、国内外の言語マイノリティについて、「人権の擁護拡張」と「文化遺産の保護継承」という二つの問題軸に沿った幅広い議論を喚起することを目的として開催する3回シリーズの講演会です。日本国内の古くからの言語マイノリティとして、アイヌ語・琉球諸語・日本手話の話者である研究者たちをお呼びして、言語使用の促進とそこにある問題について議論します。また、ヨーロッパの言語マイノリティの中でも言語的人権の議論が最も活発なカタルーニャ語の社会言語学者兼カタルーニャ自治政府言語政策局長を招聘し、世界的な問題としての視座を養うことを目指します。

## 第1回「日本における言語マイノリティ:アイヌ語と琉球語の事例」

**日程** 2023年10月21日(土)12:00~15:00 **講師** 北原 モコットウナシ 氏(北海道大学アイヌ・先住民研究センター 教授)  
石原 昌英 氏(琉球大学国際地域創造学部 教授)

【アイヌ語】近代日本の領土拡張と入植により、アイヌは、言語を放棄せざるを得なくなりました。アイヌ語研究はシサム(和人/和民族)によって進められ、権利回復の運動とは乖離しています。近年のアイヌ語普及事業も教養を目的とし、アイヌ語使用を阻む社会の問題に取り組みません。アイヌ語復興には、研究と運動に、心理的なケアを含めて構想することが必要です。【琉球諸語】沖縄県においては消滅の危機に瀕した琉球諸語の再生を目指した活動が行われていますが危機の度合いは年々高まっています。琉球諸語は琉球文化の基盤であるので、文化継承には言語継承が不可欠であると言われることがありますが、それよりも根本的な理由があります。言語権を含めことばをめぐる権利の追求としての言語再生です。

## 第2回「ヨーロッパにおける言語マイノリティ:カタルーニャ語などの事例」

**日程** 2023年12月2日(土)15:00~18:00(予定) **講師** フランセスク・シャビエー・ピラ 氏(カタルーニャ自治政府言語政策局長)ほか

社会言語学者から初めてカタルーニャ自治政府言語政策局長になったピラ氏が、社会言語学者と言語政策局長の両者の視点から、若者の間でのカタルーニャ語使用率の減少など、現在カタルーニャ語が直面している諸課題について、どのように考え、どのような政策を実施し、どのような成果が得られているのか、などについて語ります。

## 第3回「世界と日本における言語マイノリティ:手話言語の事例」

**日程** 2023年12月16日(土)13:00~15:00 **講師** 森 壮也 氏(日本貿易振興会アジア経済研究所 新領域研究センター 主任研究員)

マイノリティ言語としての手話に関していうと「ろう児の言語権についての立場表明書」(WFD, 2016)では、権利と文化の問題は、国連の障害者権利条約同様、選択の問題ではなく、共に実現されなければならない問題とされています。このことも念頭におきながら、日本と世界で手話がどのような言語であるのかについて、ごく最近、日本と東アフリカのウガンダで行った二つの研究の成果をご紹介しますと考えています。

## 4 自然環境を利用した新たな健康づくりー森林セラピーへの誘いー

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ⑤科学技術と人間

**日程** 2023年10月27日(金)14:30~16:30  
**会場** 長久手キャンパス 多目的ホール/オンライン  
**講師** 小林 敏生 氏(広島文化学園大学看護学部 教授/愛知県立大学 元教授)

森林の中の散策やリモートワークなど森の中に身を投じるとどんな変化をもたらすのか、自然が人の心身に及ぼす影響・効果について考えます。小林教授からの講演の後、参加者からの質問を交えながら対談方式で自然の楽しみ方や生活への取り入れ方などについて考えていきます。

## 5 愛知人文社会ルネッサンス ポリフォニー的世界への窓Ⅳ ー日本で暮らす南米にルーツをもつ人の現在から次世代へ

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生

**日程** 2023年11月1日(水)13:30~17:00(予定) **講師** 金城 ナヤラ ナツミ 氏(NPO法人ブラジル友の会)  
神田 すみれ 氏(愛知県立大学生涯発達研究所 研究協力者)  
上江洲 恵子 氏(高齢者生協ケアセンターほみ 所長)

歴史に埋もれさせてはならない事実を目に向け、社会にかき消されてはならない声に耳を傾ける企画です。こうした事実や声に対して、大学(研究)の側からの応答の可能性を探っていきます。「ポリフォニー的世界への窓Ⅳ」では、日本で暮らすブラジル人について当事者と研究者双方からの話を聞き、ブラジル人の現状と共に、次世代への橋渡しを見渡します。

## 6 学術講演会「若者へのメッセージ」~複雑化する行政の現場から~

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生 ⑥キャリア・スキル

**日程** 2023年11月8日(水)13:30~14:30  
**会場** 長久手キャンパス 多目的ホール  
**講師** 江口 幸雄 氏(愛知県副知事)

愛知県が1872年11月27日に誕生してから、2022年で150周年となりました。これを契機に、愛知県は、県民が愛知への愛着を持つ契機とする日、暮らし・教育・労働・経済・環境等が調和した愛知の実現を期する日として「あいち県民の日」を制定し、その日を11月27日としました。本学では、この趣旨を踏まえ、11月に愛知県副知事江口幸雄氏をお招きし、愛知県の現状、未来や長年の愛知県職員生活から得られた知識や経験などを語っていただく機会を設けました。若者に対してのメッセージ、エールを送っていただきます。

## 7 「不安」から照らす「生」の諸相 ことば・こころ・肉体・・・ジャーナリストを招く ドイツの地方都市から考える、「余暇」の未来

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生 ⑤科学技術と人間

**日程** 2023年11月11日(土)15:30~17:30  
**会場** 長久手キャンパス S棟講義室/オンライン  
**講師** 高松 平蔵 氏(ジャーナリスト)

西洋と東洋の違いはあるものの、市民革命を経験せず、しかし後発国としては急速に近代化し、第二次世界大戦に敗れた後にもめぐるしい経済成長をしてきたという点で、ドイツと日本には興味深い類似点と相違点があります。本企画では、そのようなドイツの地方都市に在住し、まちづくり、スポーツ、文化、教育などについて、示唆に富む情報を日本にもたらしているジャーナリストの高松平蔵氏をお招きします。グローバル化によって政治・経済・社会が高度かつ複雑に絡まりあう現代を、我々は生きています。そのような不安の時代にあって、日々の暮らしから自分たちの社会をいかに創っていけるのでしょうか。「西洋の先進事例」なるものの輸入の構造的困難や空虚さも含めて、ドイツの地方都市から照射される日本の今とこれからの姿を、一緒に考える機会とします。

## 8 東日本大震災後のふくしまの資料保全活動に学ぶ ー歴史・文化の護り手になるためにー

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ⑤科学技術と人間

**日程** 2023年11月19日(日)14:00~16:30  
**会場** 長久手キャンパス S201  
**講師** 阿部 浩一 氏(福島大学行政政策学類 教授)

“あなたは文化の護り手になることができますか?”  
昨今頻発する自然災害や人災などによって、人間社会やそこから生まれた有形無形の文化財は常に危機に瀕した状態にあります。本公開講座では、「文化財レスキュー活動の啓蒙・普及」の一環として、講師として阿部浩一氏(福島大学)をお招きし、「ふくしま資料保存ネットワーク」による活動をはじめ、東日本大震災後の福島での経験をご紹介いただきます。後半は、デジタルカメラで資料等を撮影・保存する手法についての実演と、希望者には古文書撮影の体験をしていただけます。災害時に、地域の大学生や地域住民は、文化財のために一体何ができるのでしょうか。実際のレスキュー経験を語る講演によって、あなた自身が文化の護り手となる道を示します。

## 9 知る 気づく 若年性認知症とは? ~届け、ヤングケアラーへの支援

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた

**日程** 2023年11月22日(水)14:30~16:00  
**会場** 長久手キャンパス 多目的ホール/オンライン  
**講師** 竹田 晴幸 氏(社会福祉法人百千鳥福祉会 理事長)ほか

認知症は高齢者の病気だと思っていないですか。  
その誤った認識から、早期発見につながらず悩んだり苦しんだりしている方があなたの身近にもいるかもしれません。また、最近よく耳にする「ヤングケアラー」ですが、若年性認知症とも大きく関わりのあることです。  
「若年性認知症」と「ヤングケアラー」について、一緒に学んでみませんか。

## 10 第6回国際セミナー 2024年、世界の展望

キーワード:④グローバルな多文化共生

**日程** 2024年2月2日(金)18:00~20:00  
**会場** オンライン  
**講師** 国際政治の専門家、本学教員等5~6名(予定)

主にビジネスパーソンを対象に、2023年の世界の回顧と2024年の世界の展望についての公開講座を行います。ウクライナ・ロシア問題や中国問題の専門家など登壇者5~6名が20分程度ずつ話し、質疑応答を行います。

## 11 2023年度第2回 愛知県立大学 世界史セミナー 「アラブ・イスラーム世界で最も古い歴史をもつ王国ーモロッコ」(仮)

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生

**日程** 2024年3月2日(土)15:00~17:00  
**会場** 長久手キャンパス S101/オンライン  
**講師** 白谷 望(愛知県立大学外国語学部 准教授)

アフリカ大陸の北西に位置するモロッコは、アラブ・イスラーム世界の一部であると同時に、地中海地域やアフリカの文化の交わる場所でもあります。また、アラブ世界に現存する最も古い歴史を持つ君主制の国です。日本でも天皇の生前退位を受けて社会的に注目を集めている世界の君主制の在り方に対して、モロッコを主な事例として、アラブ君主制の現在を紹介します。

## 12 しだみゅー歴史セミナー記念講演会 「尾張連草香の國ー尾張氏が王権とその歴史の舞台に登場する時代ー」

キーワード:②人間への洞察 ③共生社会のすがた

**日程** 2024年3月10日(日)13:00~16:30 **講師** 赤塚 次郎 氏(名古屋経済大学 特任教授) 早野 浩二 氏(愛知県埋蔵文化財センター 調査研究専門員)  
中野 金弘 氏(劇団「夢舞台」代表) 丸山 裕美子(愛知県立大学日本文化学部 教授)  
内記 理(愛知県立大学日本文化学部 准教授)

しだみゅー古墳ミュージアム主催・愛知県立大学協力で実施する歴史講演会です。この地域の古代豪族尾張氏が、ヤマト王権と結びついて歴史の舞台に登場する時代(6世紀)について、多様な視点から考えます。ヤマト王権(フホド王=継体天皇)と尾張氏関係の人物にスポットをあて、また尾張氏の墳墓の可能性が高い、尾張地域最大規模の前方後円墳・断夫山古墳の最新の調査成果や残された文化遺産群を検討し、広くアジアの歴史の流れを視野に含みつつ、「尾張連草香の國」の実像に迫ります。

## 13 フランス語圏アフリカ研究セミナー

キーワード:①外国語 ②人間への洞察 ③共生社会のすがた ④グローバルな多文化共生

**日程** 2024年3月頃予定  
**会場** 対面で開催(会場未定)  
**講師** フランス語圏アフリカに関する研究者(予定)

日本において研究の蓄積が少ない、フランス語圏アフリカに関する研究分野について、その成果を共有し、研究者のネットワークを強化する目的で、同分野の研究セミナーを開催します(使用言語はフランス語のみ)。

今回掲載されている講座はすべて無料開催となります。

### キーワード

- ①外国語:グローバル時代に必要な知的スキルとして外国語を習得する
- ②人間への洞察:人間理解を深める
- ③共生社会のすがた:共生社会の仕組み・あり方を理解する
- ④グローバルな多文化共生:異文化・グローバル社会を理解する
- ⑤科学技術と人間:自然と科学、情報科学・技術などの理解を深める
- ⑥キャリア・スキル:より良きキャリア形成を目指す